

# H21年度 ヤゴ救出作戦展開催！



毎年恒例の「ヤゴ救出作戦展」が岡山ふれあいセンター1階のプロムナードを会場に開催されました。今年も市内の小学校から児童の作品や写真、学年便りなどが数多く寄せられました。会場の様子を紹介します。



## <三門小>



町中の学校のプールは、生き物たちにとっては大切な場所なのですね。先生と共に**一生懸命**取り組んでいる様子が伝わってきました。

## <馬屋上小>



郊外に位置する馬屋上小のプール。こちら**も「命」**をつなぐ大切な場所です。子ども達の感想にもその大切さが分かる文章がいっぱいでした。

## <西小>

西小学校は毎年参加してくれています。今年まず目に飛び込んできたのはすばらしい**「絵」**でした。色使いや構図、力強いタッチ...どれをとっても今にも絵から飛び出してくるようなトンボがいっぱい。

**新聞作り**もすばらしい！絵あり、説明あり、イラストありと、どの新聞も思わず立ち止まって読んでしまいます。



## <竹枝小>



竹枝小学校は毎年模造紙を使って大作を届けてくれています。ヤゴだけでなく、ゲンゴロウやアメンボなど数多くの生き物を救出してくれました。

## <伊島小>



伊島小では、救出したヤゴをはじめとした生き物を近くの川に放してあげたそうです。  
自然の中で育つのが一番ですね。

## <西大寺南小>



西大寺南小の3年生が取り組んでくれました。全部で888匹も救出してくれました。詳しくは西大寺南小のHPをご覧ください。

## <浦安小>



浦安小も毎年参加してくれています。継続することに意義がありますね。すっかり学校としての取組になっています。

## <小串小>



海の近くの小串小ではどんなトンボのヤゴがいたのでしょうか？山の学校と海の学校では違いがあるのでしょうか？調べてみたくなりました。

薬を入れてしまえば比較的簡単に掃除ができるプールですが、それよりも大切なことを学ぼうと多くの学校が「ヤゴ救出作戦」に参加してくださっています。子ども達が自分自身の手で、一つでも多くの命を救う活動を行うことが、心の中に大切な「宝物」になるのでしょうか。

学校の運動場を気持ちよさそうに飛んでいるトンボを見る子ども達の目は輝いています。いつまでもその輝きを失わせたくはないですね。

来年も多くの学校での取組が紹介できることを期待します。

**ご協力ありがとうございました。**

